

(様式1)

令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立イタイイタイ病資料館 健康課

2 施設所在地
富山市友杉151番地

3 施設設置年度
平成24 年度

4 設置目的
イタイイタイ病が二度と繰り返されないことがないよう、貴重な資料や教訓を後世に継承するとともに、困難を克服した先人の英知を未来につなぎ、もって環境及び健康を大切にする県づくりに資することを目的とする。

5 施設概要
鉄筋コンクリート 2階建て
延床面積 1,209,93㎡ (1階部分683,1㎡、2階部分526,76㎡)
※富山県国際健康プラザに隣接して設置

6 指定管理者
公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間
5 年
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数 (人)

H29	H30	R1	R2	R3
28,313	28,252	26,103	11,702	12,311

(2) 利用(使用)料金収入 (千円)

H29	H30	R1	R2	R3
3	3	7	12	15

【参考】 利用料金収入見込み額 (利用料金制導入施設の場合)

H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・入館者数は、令和2年度比105.2%の12,311人であった。
・個人、団体別では、個人利用者は前年度比116.2%の7,966人、団体数は令和2年度比104.3%の122団体であり、団体の内訳は学校関係が2校増の25校、その他の一般団体が3団体増の25団体であった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・平成24年度から小学校、中学校、高校等からの来館者を借上バスにより無料送迎を実施

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・平成24年度から資料館の見学と国際健康プラザの利用をセットにしたコースを提供
・平成24年度から各市町村に出向き、資料館の展示内容に係るパネルの展示、各種関係資料の配付及びアンケート等を行うサテライト事業を実施

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	・年に4回（4月、8月、11月、2月）、各々1週間の期間を設定
回答者数	366名
結果	年代別の回答割合は、小中学が20.3%、高校生以上が79.7%、高校生以上では40歳代が最も多く25.0%、続いて50歳代が16.8%、30歳代が12.4%であった。
結果を踏まえた改善事項	・より多くの人に来館してもらえるよう、ホームページやメールマガジンを活用した啓発を行う。また、国際健康プラザ利用者に対しても機会をとらえて積極的に案内を行う。

② その他利用者の声を反映させる取組み

・受付担当者が見学者に積極的に声かけをして、利用者の声を直接把握するように努めており、展示解説ボランティアも利用者に積極的に声かけを行い、利用者からの声を集めている。

③ 主な苦情と対応

特になし

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・市町村や各種団体へパンフレットを配布。
・富山県広域消防防災センターと連携を行い、バスを用いて利用する団体の利用促進を図っている。

(7) 施設・設備の維持管理

・適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・国際健康プラザと連携した防火訓練及びAED講習を実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

有/無

回数(有の場合)

①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	2
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

・なし

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・経費削減を念頭に業務内容を再点検するとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底し、来館者の意向を反映させながら各種の企画や管理を工夫し、サービスの向上と来館者の増加を図る必要がある。
・今後とも、小学校等だけでなく、より幅広い層の来館を促すPRが必要である。